

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆インフレで「財政余剰」、薄れる債務負担感 緩みは要警戒

・インフレによって政府の資金繰りが改善傾向にある。税収増を背景に最新の日銀の資金循環統計で政府部門が黒字となった。政府の債務残高が大きく目減りすると有識者の試算もある。物価上昇が財政リスクを覆い隠しているようにも見え、安易な減税や歳出増には注意が必要となる。

◆100円玉の製造、前年度比で3割減計画 電子マネー普及で

・財務省は2025年度の貨幣の製造計画を発表。100円玉は前年度から33%減らして1億枚をつくる。電子マネーの普及などで、硬貨の需要は減少傾向に。硬貨全体では6億303万5000枚を製造。うち3万5000枚が大阪・関西万博の記念硬貨で前年度の計画と同程度とした。紙幣は計28億5000万枚を製造する。前年度から1億枚減らす。

◆個人向け国債、24年度の購入3割増 固定5年は金利1%超

・日銀の利上げで「金利ある世界」に移行し、1万円単位の小口で買える「個人向け国債」の購入額が2024年度に5年ぶりの高水準に。財務省が3月に公表したデータによると、24年度の個人の購入額は4兆4938億円と前年度と比べて32%増えた。個人向け国債は購入対象を個人に限る。変動10年債、固定5年債、同3年債の3種類がある。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆「令和の大改修」に沸く建設株 東京の経年ビル8000棟

・建設株、なかでも空調や電気などの専門工事を請け負うサブコン銘柄が活況。バブル期前後に建てられたオフィスビルが軒並み改修期を迎えており、建て替えや改装の需要が拡大。専門人材は限られ、ボトルネックから工事単価が上昇。トランプ米政権の関税リスクに市場全体がおびえるなか、「より確実な内需」に資金が流れ込んでいる。

◆LIXIL、米国子会社の浴槽事業を売却 現地同業に

・LIXILは米国連結子会社のASDホールディングスの浴槽事業を売却すると発表。現地で浴室事業を手掛けるアメリカン・バス・グループに譲渡。併せて浴槽事業の生産拠点と一部の生産設備も譲渡。浴槽事業の売却により、収益性を見込めるトイレやシャワー、水栓金具事業に注力。LIXILはABGと売上高の一部獲得のライセンス契約結んだ。

◆防衛省と住団連が連携強化 退職自衛官の再就職を支援

・国土交通省および防衛省と、住宅生産団体連合会は退職自衛官の再就職支援などについて連携強化を図る目的で「住宅産業及び自衛隊における人材確保の取組に係る申し合わせ」を締結。退職自衛官の採用に関する取り組みを双方間で実施。資格に関する情報や退職自衛官の活躍事例などを防衛省に提供、住宅産業への再就職を促す。

《 注目商品 》

■LIXIL、自動窓掃除ロボット「HOBOT」の日本国内の総代理店事業を開始

・LIXILは自動窓掃除ロボット『HOBOT』の日本国内の総代理店として、事業を展開。スイッチひとつで窓にピタッと密着し掃除をしてくれるので、上の方まで届かなかつたり、しゃがんだり立ったりと結構体力を使う窓拭きのお悩みを解決。



■パモウナ、ナチュラルな木目柄食器棚「NWシリーズ」

・ナチュラルなデザインで、機能性豊かなアイテムを取り揃えたシリーズに、食器棚をラインナップ。ナチュラルなインテリアに馴染む木目柄で統一されたデザインで、空間に自然と溶け込み落ち着いた雰囲気演出。



■淀川製鋼所、小型物置に新色を追加 「ヨド物置ブラックエスモ」

・3枚扉で大きく開いて出し入れしやすい小型物置。分割棚を自由に配置することで、さまざまな荷物の収納に対応する。本体色にしずく調の塗装を施したマットな質感のブラック色を新たにラインナップ。内壁・天井・棚板・棚柱・床の内装もすべてブラック仕様。

